

ごあいさつ



人と海鳥と猫が共生する
天売島連絡協議会

代表 **高橋 徹**
(北海道獣医師会 会長)

猫の健康飼育ハンドブック発行にあたって

天売島は世界的に貴重な海鳥繁殖地であります。近年、島でノラ猫が増え一部ノラ猫が海鳥繁殖地で海鳥のひなや卵を捕食したり、驚かせて海鳥の繁殖が失敗する事例もあり、飼い猫にマイクロチップを入れて23匹を飼い猫として島民の方々に登録して頂きノラ猫保護活動が始まりました。

ノラ猫を捕獲し、島外に出して動物病院での健康チェック・ワクチン接種・寄生虫の駆除・不妊去勢手術・マイクロチップの装着を完了した後、猫の保護団体で馴化して頂き(人と一緒に幸せに暮らせるように慣らす)その後譲渡会で新しい飼い主に譲渡する時間のかかる手順です。平成30年2月までに保護した数143匹、島から出した数130匹、譲渡した数110匹です。

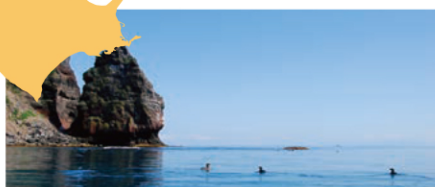
この活動をして分かったことは、長い間ノラ猫をしていると腸内の寄生虫病や、皮膚につく寄生虫も多く、これらは家の中で生活していれば、飼い主が発見してあげられることが多くなります。

この猫の健康飼育ハンドブックは、猫の特性や病気の症状別の特徴を項目ごとに記載してあります。皆さんが猫の事をより理解して頂き、猫との暮らしを楽しんで頂きたいと思います。

天売島



●羽幌町

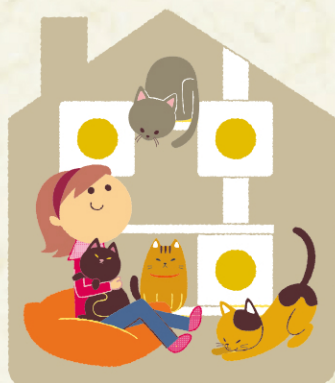


「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会の取り組み

約100万羽の海鳥の繁殖地で「海鳥の楽園」として知られる天売島(苫前郡羽幌町)ではノラ猫が増加したことによる海鳥の減少や住民生活への影響が問題となっていました。

そこで行政や獣医師会、動物愛護団体が連携し、「天売猫方式(ノラ猫を保護し、人に慣れさせ譲渡する方法)」で生態系保全と動物愛護を両立させる取組を行っており、最近では島内のノラ猫は減少し、海鳥の繁殖にも改善の兆しが見られています。

引き続き天売猫の取組を進めるとともに、天売猫をきっかけに構築された体制を活用しながら、道内の動物愛護の促進に取り組んでいます。



猫の健康飼育ハンドブック

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会

【構成団体】

- 羽幌町役場 町民課
- 北海道 環境生活部環境局 生物多様性保全課
- 北海道 留萌振興局 保健環境部環境生活課
- 環境省 羽幌自然保護官事務所
- 公益社団法人 北海道獣医師会
- 留萌獣医師会
- 北海DO.ぶつnet

【執筆責任者】玉本隆司(酪農学園大学/4~10ページ)

【写真協力】高田真弓(NPO法人 猫たちを守る十勝Wishの会)

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会

ホームページ <http://teuri-neko.net/>

facebook <https://www.facebook.com/teuri.neko/>

HPはこちら



Facebookはこちら

